



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第37号

イラスト◎ あべまりあ

発行所

天使のほほえみ

発行人 鎌田久子

編集人 野田滋美

事務局 下記

理事長挨拶

熊本地震へのお見舞いと

森敬恵先生のご講演のご報告

理事長 鎌田久子



4月16日に熊本地震が発生し49人が亡くなり、8万人を超す方々が非難を余儀なくされました。地震の続発もあり、大変な状況でした。心よりお見舞い申し上げます。できるだけ早い復旧と、力強い復興が進みます様にお祈りしております。

安倍首相のフェイスブックには、安倍首相の慰問の折に、自衛隊・警察を前に、「生き埋めになりそうな方1200名を救い出してくれたことに、心からの感謝と敬意を表します。」と言われました。そしてそこかしこに、「人命救助の為なら何でもする。」と堅い決意が述べられていました。そのおかげで犠牲者が49名にとどまったのです。また、「日本の心」の中山恭子代表に、現地の方が「政府は良くなつてくれて、感謝しています」と言われたそうです。マスコミは安倍政権の被災者のための懸命の努力は、少しも伝えません。ただ、こういう地震や洪水が発生するのは、自然現象であると同時に、やはり戦後殺された1億2千万人の胎児の悲しみが呼び寄せ

ているのではないかと私は思います。早く母体保護法を改正して、殺される胎児が激減することを進めると共に、今までに殺された胎児の供養を国民全員でできたらと願っております。

今月15日には当会の総会と記念研修会を行いました。総会の議案は無事承認され、研修会では、ソプラノ歌手の森敬恵先生が歌とトークで「愛の教育の大切さ」の心に沁みる講演をされました。また5才児の「教育勅語」暗誦や合唱隊の「日本」の歌には涙が止まりませんでした。すばらしい会でした。

5月26、27日にはG7「伊勢志摩サミット」が開催されました。安倍首相のリーダーシップで世界の首脳が安全保障、人権、経済、環境等の重要課題が取り上げられました。

又、世界の首脳が伊勢神宮へ詣でられ、日本民族の生命の中心である天照大神の神宮に正殿に参拝されました。首脳方は高い霊的雰囲気と日本精神を実感して頂けたのではないかと思います。

又、オバマ大統領が広島を訪問さ

れ、原爆の犠牲者への哀悼の意を捧げられた事も、歴史的に大きな事でした。安倍首相のお力と誠実な人格の為せる業と思います。

安倍首相や、周到な警備体制を敷かれ、目的完遂された方々に心底感謝致します。

来る7月には参議院選挙があります。私共の顧問、「山谷えり子先生」が最高位当選を果たされる様に頑張つて行きます。皆様もどうぞ御支援をよろしくお願い申し上げます。

総会・記念研修会のご報告

総会・記念研修会を左記の通り開催致しました。

日時 5月15日(日)

総会 1時00～

研修会 2時00～

場所 代々木 青少年総合センター

409研修室

テーマ

「人のいのち 国のいのち」

— 少子化解消、

末広りの日本に —

講師 森 敬恵 先生

鎌田久子 理事長

総会では各審議事項が議案通りに

承認されました。

記念研修会の講演では森敬恵先生は世界に誇る童謡6曲を歌われ、赤ちゃんの時から手離れるまでの子供の人格形成で母の授乳、言葉がけ、触れ合い、抱きしめが如何に大切かを述べられました。日本が他国に比べ如何に素晴らしいかも話されました。

又、5才児の「教育勅語」暗誦や、鶯の会の日本への思いを四季に重ねて綴った「日本」の合唱にも、参加者一同、心から感動しました。

お友達をお誘い下さい

年会費 個人	正会員	2千円以上
	賛助会員	5千円以上
	篤志会員	1万円以上
法人	一口	5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987

天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

「人のいのち 国のいのち」

——美しき日本に幸あれ——

天使のほほえみ 鎌田久子 理事長

平成24年5月31日 ご講演 文責 野田滋美

今日の講師は、かつて三島由紀夫先生に可愛がられた大和なでしこ、松浦芳子先生。本当にありがたいございました。お話での御本「今よみがえる三島由紀夫」は売れてしまつてないかも知れませんが、ぜひお読みになつて下さい。

【三島由紀夫先生 最後の演説】

三島先生は「盾の会」を作つて、自衛隊の訓練を受けて、あの市ヶ谷の壇上で、命を懸けて「この憲法を廃棄する莽荒男はいないのか」と演説し、割腹自決されました。マイクなしで、地声で言わなかつたら日本男児ではないということが、先生の潜在意識にあつたと思ひます。自決する前にあれだけの演説をなさつたけれども、現憲法のせいで大和益荒男の自覚が隠されてしまった自衛隊の人たちは「何だ、何だ」とせせら笑つていたのです。

私はその頃若かつたですが、

「憲法の廃棄を早くしなければ」と目覚めておりましたから、

本当にその時は、あのニュースをお昼に見てから食事ができませんでした。夜も、ずっと全国の青年からうちに電話が架かつてきて答えていました。「三島先生は自分の命を捨ててしまいましたが、あの自殺行為は良くないのではないか。」とんでもない！諫死ですよ。諫める死、あれほどすごい自決はないじゃないですか。「分かつた」と言うふうに徹夜で答えていました。終戦の時は私はまだ子供でしたから、憲法の「け」の字も知らなかつたのです。でもだんだん成長して、「現憲法がどれだけ日本をここまで貶めたか」という事が分つてきました。

【民主党政権の日本自滅策動】

今民主党政権で夜も眠れませぬ。なぜ眠れないかといつたら、「現憲法の九条を守る、死守する」なんて言っている人たちが

内閣の閣僚に入れたり、本日に日本を突き落とし、自滅させようと考えている。それにウハウハ喜んでいような民主党は今日からもう撤退していただきたい。尖閣の事についても全員無罪で帰してしまつた。

「民主党政権の関係にはチャイナや韓国のルーツがあるという噂」について、アメリカの女性が分厚い資料を私に送つて来るんです。夜中電話は彼女からかけて来て2時間、向こうは夜中で私の方は昼間だから、「私もうこれから会議に出かけなくちゃならない、申し訳ない。帰つて来たら聞きますから、ちよつとこれで。私も遅刻です。」遅刻のせいを私にしておいて下さい」等とやっています。今日、南出先生の講演をお聴きしましたから、私は今晩から少し眠れるようになります。今日は本当に、大和益荒男、大和なでしこの、お二人のすばらしい講師をお招きして、又、魂の高貴本当の眞の日本人がこのようにお集まり下さつています。本当にうれしゅうございます。

【GHQの日本弱体化工作】

日本の危機がここまで迫っているのも、アメリカが、日本が再びアメリカの脅威にならない様

に、日本を貶めて自立できない様に、「現憲法の押付け」と「日本的行動様式の排除」、「民主主義絶対善を刷り込む思想改造」を、徹底してやつたからです。

アメリカは民主主義が国是です。しかし、「世界の警察だ」なんて言つて、自分たちの国だけが原子力を使って、他の国には原子爆弾を作らせないとやうな、そういう「民主主義」というのは絶対に魂の腐つている思想です。

ジャン・ジャック・ルソーは、「私はこの世界を平和にしていくためには、この民主主義しかないだろう」と言つので、仕方なく（！）民主主義を唱えるようになった。」と言つているのですよ、皆様。

【日本は民主主義を超えた国柄】

先の大戦で日本はすばらしい中心帰りで、天皇陛下の下で戦つた。たとえば「沖繩は二、三日で片付くだろう」とアメリカは思つていました。ところが沖繩の方たちは「アメリカに日本の本土には上陸させまい」と、二歳の子供まで戦つて、三ヶ月死守して、本土決戦させずにあそこで食い止めて下さつたのです。

だから昭和天皇陛下は、「沖繩に行くという勤めがあつたけれども、体を壊していけないのが残念

だ」と切々と歌われたものが、御製の中の最後にありました。

こういう話をするつもりはなかつたのですが、本当に今こそ覚醒しなければならない時期に来ているといふ事を、今日はお二方から学ばせて頂きました。皆様、今日学んだことを本当に日本中に、声を大にして伝えて戴きたい。書くなり声を出すなり、歌を歌うなどして、広めて頂くしかないと思ひます。

【①全身全霊で走ろう】

まず一番目は「全身全霊で走ろう」といふ事です。

これは私が今から32年ぐらい前、全国を講演させて頂くような役職をやらせて頂いており、宿の新報に大阪の地方の事件の記事が出ていました。それは、あるマンシヨンの庭で、主婦たちが色々な話をしていたら、「あー！6階のマンションから赤ちゃん（ベランダへ出ている、と見つけました。ベランダで格子の開いている所へ片



足出して、次によちよちと両足出した。そうしたら丁度お母さんがそこに帰った。「危ない！あなたの赤ちゃん、ああっ」と言われ、そのお母さん、持っている買った物をバツと捨てて、サユールをバツと脱ぎ捨てて、ピユーと六階下まで走っていった。その走り方は、よそで見ていたら、ただのマラソンではなかった。宙を飛んでいた。ほんとに死ぬほどの努力、何とか命を助けたいと思って、そのお母さんは全身全霊で走って行ったのです。植え込みのすごい所も裸足で、足をピユーッと動かして、赤ちゃんの頭が下になつてたんです。頭の百四十億の脳細胞は体のどこよりも重いのですよ。それが滑り込んだお母さんのところへピタッとし。赤ちゃんは「お母さん」と泣き出した。

周りの人たちはみんな「あー、よかった、坊やよかったね」という事になったんですね。私はこのエピソードを思い出したんです。

【現憲法は改正してはダメ】

今、南出先生が仰っている様に、憲法の一部を改正するなんて言つてはだめなんです。

「日本はどこまでも攻められて、土地でも日本民族でも、全部泥棒してもかまわない」となっているのが、今の憲法の前文から最後までです。一行半句も今の憲法を、ここだけ変えてここだけ残すと云う風に、残したらだめなんです（拍手）。

だからどうしても全面改正。この大和益荒男の先生であれば勇気があつて、政治家だつて、左翼が攻めたつて、バツと正しい事を言うから。正しさこそは、どんな悪の思想の共産主義であろうと、光ですから、闇は消す事が出来ますから。その時期が来たなと思います。

【日本は未だ非独立国】

今、民主党によつて真つ逆さまに、皇位継承も女性でいいという、「女性宮家創設」から始まつて、その前の小泉さんのワンフレーズなんて、マスメディアが持ち上げていましたが、単純な小泉さんはアメリカのポチで、本当に「郵政民営化」なんて最大の罪悪を犯しました。進次郎君はまだ父親よりましかと云つて話を聞きに行つたら、やつぱりがっかりしましたね。

今の赤ちゃんみたいに真つ逆さまに日本は貶められているの

です。未だにアメリカの属国で、日本は独立していません。独立国家になるためには、今の憲法を全部廃棄しなければだめです。大日本帝国憲法を復元して、そして今の時代に少し合わせる。基本は大日本帝国憲法。

【明治天皇の御臨席】

明治憲法作成の時には四年間、明治天皇がご臨席あそばして、「ご自分のお孫様がお隠れになつた」というメモが来ても微動だにされませんでした。

明治天皇がお帰りになつた時、そのメモをお渡しした侍従に聞いたら、「お孫様がお亡くなりになりました」と。皆びっくりして号泣したんです。普通だつたら「今日だけは、私そちらへ行きます」と言う所を、明治天皇は顔色一つ変えず最後までいらした。

それほど四年間の大日本帝国憲法の作成に当たつて、明治天皇が毎回ご臨席あそばして、一回もご欠席なしでいらした。そういう大日本帝国憲法です。

現憲法は全部なくして、これに戻して、議論が出た所を少し変えるという、それで良いのです。



【日本を独立国家に！】

皆さん、全身全霊で日本中に広めましょう。赤ちゃんの命を救う。国のいのちを救う。私は国の命と国民の命は一体と思います。

国は有機体です。死んでなんかありません。世界中を見てもこんなに緑が多くて、こんなすばらしい国家は、194ヶ国の独立国で、日本だけです。なのに独立していません。やらないで、本当に申し訳ないじやありませんか。

今日から独立国。皆様と共に独立宣言して、現憲法廃棄のために全身全霊で走っていきましょう。

【②覚醒運動を促進しよう】

二番目は「覚醒運動の促進」です。

【日本は「ゆでガエル」状態】

何かに書いてありましたが、今の状態はゆでガエルだと。生きていくカエルをぐらぐら煮立つたお湯の中に入れると、もうカエルは死を感じて必死にピユーと飛び出す。ところが同じような種類のカエルを、今度はお水の中に入れて、それをそつとガスの上に乗せて、火を細くして、だんだん生ぬるくしていくと、「いい湯だな〜アハハーン」とゆでガエルになります。

今の日本はそんなんです。

アメリカはトモダチ作戦なんて言っていますけれども、「あなたたちは、いまから66年何ヶ月か前に、日本にこんな憲法を押し付けた国です。私たちはやつとこの頃覚醒しました。目覚めました。これはもう無くす事にします。」と言いましょ。

アメリカはキリスト教国ですから、クリスチャンから説得していつて、アメリカの私たちに与えた憲法はだめだという事を、アメリカの有識者と共にやつて行きたいと思つてますね。変えてはいけないと言う権利は無いんです。法律の先生詳しいですからね。その所は大いにやつて頂きたいと思つています。

【三島由紀夫氏の守りたいもの】

石原慎太郎氏が昔週刊誌対談で、三島由紀夫先生に「君はいざというときは何を一番守りたいか。」と聞かれたら、「やつぱり最後は、ぼくは自分の命を守る事だね」と答えた。三島先生は「そうか。ぼくは三種の神器だ」。

これで分かつたでしょう。天皇国日本は、百二十五代続いて2670年国家だ。その象徴が三種の神器ですからね。石原さんもそれが分られた様です。

【日本再建には覚醒運動が必要】

この「いい湯だな」ってや
つていく時に、カエルはお腹を
ひっくり返して真つ白になりま
す。「ひっくりガエル」ですね。
日本人はそういう「ひっくりガ
エル」にさせようとしている中
に浸かっているんですよ。

そうでしょ。民主党政権は両
国から攻められて取られても、
またその犯罪者を平気で、お見
送りして返す。日本の飛行機に
乗せて、特別に夜中に。何と言
う政権か。

やはり覚醒運動の促進が必要
です。皆様覚醒してください。

【小5の女兒が平気で中絶】

「母体保護法」の「経済的理
由」と言えば、小学5年生がた
った一人で産婦人科に行く。

「何で来たの?」「あのね、で
きちゃったんです。親にも言っ
てないんです。友達がカンパし
てね、費用はちゃんと持ってい
ますから、中絶して下さい。」「相
手の名前なんか書かなくてもい



いよ。いろいろな事情だから
ね。じゃ、しましよなね。」

昔は、中絶した女性は非常に
良心が咎めるんですよ。だつ
て、自分のお腹に宿った子供を
殺すなんて。お魚だつて生きて
いるのを殺すなんて、私は出来
ない。女性は皆そうですよ。

【感覚麻痺はGHQの工作】

でもこの法律で皆麻痺させ
られているんです。これはアメ
リカから押し付けられたジェ
ノサイドですから。優秀な民族
を抹殺する、これを変えなくち
や。覚醒運動をするには、皆様
とご一緒に、言葉に出してい
なければならぬ。

【狼 DNAの目覚め】

こういう話があります。山
頂で狼たちが「ウォーッーウォ
ーッー」と叫んでいた。たまた
ま雌の狼が山を下りて、羊を食
べようとしたら、急に産気づい
てそこで産んじやった。で、逃
げ帰ってしまった。その狼の子
は羊が育てたのです。そしたら
羊のお母さんのお乳を飲んで、
その群れで全然色が違うのに、
「ウォー」なんて泣かずに「メ
エュー」って泣いていたので
す。ところがある日、山頂から

「ウォーッー」という狼の声が聞
こえたら、DNAが目覚めた。「あ
ー、あの懐かしい声、お腹の中
で聞いたお父さんとお母さんの声
だ!」とたてがみが立ってしまい、
山頂にウォーッーと駆け上って、狼
の種族に戻ってしまった。

【日本人のDNAの目覚め】

皆様、私達は今、千年に一度の
東北の災害で、あの方たちが犠牲
になって、日本人のDNAが目覚
めたのです。

世界の他の国であれだけの災害
を受けたら、略奪やら商店から盗
んだり、互いに「食べちゃった」
とか「私の分は少ない」とか小さ
なことからみんな殺気立って喧嘩
して、大変な事になる。中国なん
か国が殺したのです。ちよんとい
い機会だと思つて、政府に反抗し
た人を皆殺しにした。

でも日本人はどうですか。皆い
たわりあつて、着る物も、高校生
や小学生が「おばあちゃん寒いか
らね。ぼくの洋服かけてあげる
ね。」と言う。家族の絆とか、生命
の尊さとか、互いに思いやる心が、
湧然と沸き起こってきた。安らぎ
や勇気や本気が出てきている。日
本という国はたとえ民主党の様な
政権になってしまつても、天皇陛
下がいて下さる。そして私達の事

をずっと祈つていて下さる。そ
れで本来の姿が出てくるので
す。

【今上陛下のお言葉、「配慮】

東北の人達はテレビなんか見
れなかった。でも陛下はすぐ4
日後にテレビでお話しなさつ
て、「本当に悲しき、辛さを分か
ち合いたい」と仰つた。

そしてその4日後から2日に
亘つて39人の専門家を宮中
にお招きなさつた。

「いつ私はお見舞いに行つたら
いいか。いつ励ましに行つたら
いいか。東北の人達に何を
上げた方がいいか。」と聞かれ、原
発事故の事も、次の地震の予想
も聞かれた。

【民主党政権の無能ぶり】

民主党のちよつと変な防衛大
臣は、国防の事が分つていない
のに対し、天皇陛下は39人の
専門家にお尋ねになつて、そこ
まで勉強されている。

国と生命を司つて運行して行
くべき代議士が何も勉強しない
で、全てマイナス、マイナスに
動いている。山谷えり子や有村
治子や稲田朋美が質問しても、
たじたじとして、一向に頼りな
い、大変な内閣だった。

【生命を救う「陰」の運動】

「陽」の運動として「憲法改正」
をやつて行く。「陰」の運動は、
毎日二千人近くの赤ちゃんが殺
されている。これをどうにかしな
くてはならない。

その子たちは、サムシンググ
レートの世界から日本を選び、日
本の先祖の生命を受け、お父さん
お母さんを選んで受胎してきた。
絶対に日本に生まれて来るべ
き胎児を殺さずにはいけません。
今まで世界で比率的に一番殺し
たのは、日本ではないですか?

【生命を抹殺する「医は算術】

今、医学は化け物です。中絶は
機械がピュッと2分で出しちゃ
う。精神を余り傷めないで出来ち
やうなんです。反省もない。お金さ
え納めればいい。医は算術になつ
てしまつている。

「お母さん、〇〇ちゃんの所に
宿題をやりに行くからね。」「行
つたらっしやい。気を付けてね。」「
とんでもない、産婦人科に飛び
込んで中絶する。そして「た
だいま。〇〇ちゃんの家で、ゆっくり
遊んできました。」「これが今の子供
たちです。」



【為した事は消える事はない】

しかし、現象的に精神を傷けない様に見えても、生命を殺した事実は自分の魂の中に残っています。懺悔も何もせずに消える事はありません。苦しめない分、かえって魂は傷ついて行きます。

私は、その子たちの魂がだんだん腐ったり汚れたりして行くのを見ると、同性として本当に可哀想に思います。また彼女たちは、日本の自虐史観を教わり、「人間は素晴らしい生命を持つ、完全無欠の存在である。無量力のある生命である。」という事を知らずに一生終わるかと思うと、たまらないですね。ですから陽と陰の運動は一緒に推進して行かないと、日本は本当に沈没します。

【憲法と母体保護法改正に】

どうか天使のほほえみにまだ入会されていない方は、年間わずか二千円を収めて頂ければ、我々はこれを有効に使わせて頂いて、なんと**憲法と母体保護法の改正に**こぎつきたいと思っています。会員でない方は、ぜひお入りくださいますように、心からお願ひ致します。

【◎天皇后日本に感謝しよう】

三番目は、「天皇后日本に感謝しよう」という事です。人間はどんなに多くの人を助けたくとも限りがありますよね。しかし正しい誠意ある行動で人を感化することはできる。

あの東北の方達が、秩序整然と人を思いやる行動を示されて、世界の人達が讃仰し感化されている。それは天皇后日本であり、天皇后陛下がお祈りして下さるからこそ、ああいう行動ができるのだと、私は思います。

【私達もそれぞれ良き運動を】

我々は、やはり個々にそれぞれ運動をしていかなければなりません。

「あなた、もしかして妊娠しているんじゃない？」「あなたもしかし、中絶しよう」と今日、思っただらうしやるのではないかしら。」と、私はアレパシーを一生懸命発しています。妊娠した方はお腹がふくらんでいますからね。

有村治子先生が作られたマタニティマークを見ると、「ああ、ご妊娠なんですね。おめでとございます。」と言って、バス停とか電車の中でお話しして

「スルッポンと生まれる方法があるんですよ。」「えーっ」とお話しします。

又、家に来る配達人の方や、勧誘の方を引き留めて、「民主党はダメよ。」「朝日新聞はダメよ。」「日本は神代から天皇后陛下を頂いた素晴らしい国よ。」「日本人は終戦の時、天皇后陛下が身を捨てて助けて下さったのよ。」「胎児の生命は中絶したらいけないのよ。」等々、熱を入れて話をします。

【陛下の祈りに波長を合わせて】

相手の為に祈ると言う事は、「イ(生命)ノリ(言)」です。離れていても祈って下さる方が中心にいて下さるといふ素晴らしい国に生まれて有り難いと、すごい被災の体験を経て、拝ませています。

天皇后陛下の祈りの御製が沢山ございます。「我が庭の宮居に祀る神々に、世の平きを祈る朝朝」私達は、陛下の素晴らしい祈りに波長を合わせて祈りつつ、日本人をジャンジャン産んで、世界の平和の礎にしたいのです。

今がチャンス！一番どん底に落ちた時に、私達がお母さんのように魂の両手を広げて「日本の国家の生命」と「赤ちゃんの生命」を救っていく使命がある。

【アインシュタインの言葉】

相対性原理を発見したアインシュタインは、大正11年日本に2ヶ月滞在了した時にこう言っています。

「近代日本の発達ほど世界を驚愕させたものは無い。その驚異的な発展には、他国と異なる何物かがなくてはならない。果たせるかな。この国の三千年の長い歴史を通して、一系の天皇を戴いて、今日の日本を在らしめていた。私はこのような尊い国が世界に一か所位はなくてはならないと考えていた。世界の未来は進むだけ進み、その間幾度か争いは繰り返され、最後に戦いに疲れる時が来る。その時、人類はまことの平和を求めて世界的な盟主を上げねばならない。この盟主なる者は、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を超えたものとも古く、また尊い家柄でなくてはならない。世界の文化はアジアに始まってアジアに終わる。そのアジアの高峰である日本に立ち戻らなければならぬ。我々は神に感謝する。神が我々に日本と言う国を作っておいてくれたことを。」

一 世紀の大科学者にして、神催しの日本の姿を直感され、それを表わされた言葉です。

【日本を守って行きましょう】

万世一系、男系の君主を戴く国家を、私達は守って行かなければなりません。あらゆる民主党などの日本を貶める行為は一切排除して、今年はちょうど古事記1300年の節目、来年は伊勢御遷宮、20年ごとに常若になる日本でございます。

我々は、日本への誇りをもって生きて参りましょう。△



マザーテレサのメッセージ

「胎児は人間ではないのか」

現在、平和を破壊する最も危険なものの一つに、人工中絶があります。親が子供を殺すという恐ろしいことです。

ここで皆様と共に一つの美しい決意をしたいと思えます。それは「この国、この東京で、唯一人として、男も女も子供も、そしてお腹の子供も、愛されず見捨てられていくという事のないように」という事です。△

「いのちへ」より

にしだひとみさん

「おくりもの」

弱くなつたその笑顔には

いくつもの苦しみの足あと

その白髪一本に

その皺のひとつじに

ごめんね ごめんね

と思う

おとうさん

おかあさん

私は

扱いにくい心をもつて

生れてきましたね

いびつな形をしていて

変化に強く反応し

喜びはあまりにも大きく

悲しみはあまりにも深い

そんな心でした

だから

最愛の両親が苦しむ姿は

この心には耐えられず

肩を閉めるしか

できませんでした

時がすぎて

ようやくわかったことが

あります

この心には

いろいろなものが映ることを

ものごとの向こう側にある

本質のようなものが

そして

両親もそれぞれに

独特な心もち

不器用に懸命に生きてきた

ということとを

もつと早く

気づくことができたら

あんなに悲しませずに

すんだのに

両親の苦勞を

埋め合わせることは

とてもできない

でも

私はいま

この心を宝物だと思つています

私のしるしだから

大切な形見だから

そして

たとえ人生を

やり直せるとしても

おとうさんは あなたがいい

おかあさんは あなたがいい

△

日本を想う徒然のエッセイ

今啓パール 今井啓介社長

■「父に『勉強するなら世界一の国にへ行け』と云われて筑波大学大学院へ行った」と、李嘉進東亜関係協会会長。「日本で学んだ事が、又、多くの友人が一番の財産です。」一数少ない日本理解者親子が台湾の国会議員になる。

同じく東亜韓国にも居る筈だがと思いつつ筆を走らせる。

■瑞穂の国とは日本古来の総称である。五穀豊穡の豊かな田畑を耕し、太陽のひかりを受けて、実に美味しく頂けるご飯が日本人の食卓を潤している。

この幸せ感を技術力でTPPを切り抜けることを切に希望する。智慧と努力と勤勉だ。

■世界の平和を必ず成就する日本人。最先端を歩もう。自然との共存にその鍵がある。

大和の精神とは日本精神や日本仏教に説かれている。「自然に感謝と共存。」自然との大調和である。

■将の将たる所以は、「明治天皇」という人柄、その御徳が君主におわしたことで、いろんな人材が顕

われ大活躍をさせる。尊王精神に依るもの。

名君はただ存在するだけで

も、その国家が発展する。その

根底には国を思う一念が明治維

新の明治天皇を存在。その関わ

るリーダーの強い偉業として国

家の特性を創り上げた。

■個人と国家

個人主義も国家主義も、等しく英国が本場である。英国では「立派な人間となって国家の役に立て」と教育する。

ところが何故か日本は偉くないのであ。単に個人の完成を言う。

英国は、国家に尽くせの個人主義・国家主義のスパルタ教育である。国家主義即個人主義

■「私の薬は笑いとジョークと明るい言葉。大風呂敷に駄法螺に真理がある。よく笑う遊び大好き。生き甲斐作り。しあわせの友好術。」前向き発想が自分だけでなく回りを明るく。馬鹿にされるは由し。他人を見下げず、馬鹿にせずの人生を歩みたい。

■先祖に感謝し父母に感謝する者必ず栄える。両親二人、祖父母四人、曾祖父母八人、玄祖父母十六人、十代300年遡ると二〇二

四人の両親となります。二十代遡ると百万人の両親となります。その一人でも欠けても、人間、私達の存在は無い。

人間ひとりの使命とは、その凄

い生命の流れを体現した、父母を

通した自己顕現です。

■両親が宗教心のあるか否か、その子供の育つ環境で大きく違ってくる。

夫婦の仲が良く、幼い頃の優しいほめことばに常に育てられると、その雰囲気から成績が上がった実績が報じられている。その子供がやがて親になると、その家族迄が子育て上手となる。

■西洋人は大半どの国も信仰心を持っていて。だが今日本人は少なからず信仰心を持たない人が多い。大人の、それも知識人と思

われる人の大半がその様子。戦後の教育と云ってしまえばそうだが、それで良いのか日本人よ。



起死回生の秋は、今！

藤野世子 理事

戦後、わが祖国日本はどこまで沈んで行くのかと、憂国の志士はそれぞれの場において、智慧を出し合い団結し、努力を重ねて来てくれました。しかし、

現実を見ればかなり厳しい状況であり、「今までのように、多くの国民が『あなた任せ』では乗り切れない。もっとスピードを上げなければならない。」と痛切に思っています。

有り難い事に、日本国は天照大御神のご神勅から始まっている国ですので、過去の国難に於いて、何度も神のご加護と導きを戴いております。その中心に、常に歴代天皇の、私心を捨てた深いお祈りがありました。

最近、竹本忠雄先生の「皇后宮美智子さまの祈りの御歌」

「天皇皇后陛下下の二重唱」

「天皇聖性の時代」

を読みました。非常な感動を受け、「此処に至っては、これしかない」と確信致しました。

竹本先生は、「見えない」威力によって支えて下さる両陛下の

御聖徳に、より一層私達国民が目覚める事で、堂々と日本再興が成り立ちますように。

「その思い一筋で、本書を世に送ります。」と書き添えられておられます。

この世界は言葉、心で出来ていますから、国民がどういう波長を起すかは、重大な事です。今ようやく憲法改正問題が浮上し、「憲法改正一万人署名」に協力しております。

ただ、以前南出喜久治先生の「真正護憲論」を読み、説得力のある理論体系に驚きました。「帝国憲法は今も生きています。」と一点のブレもなく、具体策も示されておりました。

私達は小人数ではありませんが、毎日「皇居遙拝、護国の祈り、萬歳三唱」して士気を高めています。ここで天使のほほえみの皆様に、即効性がある次の事を提言致します。

「天皇皇后陛下下、万歳!!!」

の後、「明治典範復活、教育勅語復活、母体保護法改正、ヤッタア!!!ー萬歳ー萬歳ー」とやります。「ヤッタア!!!」がミンです。

最後に、御真影に「有り難うございます」と拝礼します。

東郷元帥の力強い、「皇国の興廢、この一戦にあり。各員、一層奮励努力せよ。」の言葉と、どこからかともなく、「善人よ強くなれ、団結せよ。」の言葉が響いて参ります。



「魁れ 日本の心」

山口文弘 理事

「建国記念の日」

日本の建国は、『古事記』に語られている神話の展開でありま



二月十一日を建国記念日に制定するに当り、共産党・社会党をはじめ左翼的文化人が必死に反対しました。「神武天皇建国は史実に非ず、単なる神話に過ぎず、軍国主義復活に外ならない」と主張し、猛烈に反対したのであります。

彼等は「神話は虚構であり、架空の物語である」といつて排斥するのでありますが、神話は架空の物語でも、虚構でもないものであり

ます。神話はいまだ現実に現れていないもの、即ち存在の根本的に把握した宇宙の真理が、象徴的神話で語られている事に注目しなければなりません。

キリストの主の祈り、「御心の天に成るが如く地に成らしめ給え」との聖句があります。その「御心の天に成る」世界が古事記に語られている神話であり、「地に成らしめ給え」の具体化が天皇后日本の建国として実現しているのであります。

「神国日本」

大昔から神国日本と言う所以は正に此処にあります。神話は実証歴史ではありません。又、単なる一人の人間が創作した寓話ではないのであります。何故に彼等は古事記を否定し、歴史を歪め日本民族の文化を否定するのでしょうか、それこそ日本の否定に外なりません。

神話は歴史ではありません。しかし、神武建国の歴史と日本文化の発展は、古代の日本民族が想像力によって語り続けてきた、古事記神話の具体的展開であるといつても過言ではありません。そもそも日本古来の歴史と文

化と伝統は、美しい日本の風土と自然の中に育まれた日本独特のものであり、それであればこそ尊いのであります。悠久三千年の間私たちの祖先が、血と涙で守りつづけてきた生活の記録であつて、捨ててはならない民族の歴史であり文化遺産であります。

国ありて歴史なき国家はありません。正しく歴史に学び歴史を教えていくところに、国家も国民も発展することを忘れてはなりません。

「大和の国建国の理想」

大和の国日本の建国は、天照大御神の神勅『豊葦原の瑞穂國は世々わが子孫の王たるべき地なり』との宣言によって出発せし国であり、『六合を兼ねて都を開き八紘を掩いて宇と為さん』との大和の理想をもって、神武天皇は建国せられたと日本書紀に語られております。

爾来、日本は万世一系の天皇が君臨する天皇国家として、世界に類なき三千年の歴史と文化を継承し、今日の発展と繁栄を実現しているのであります。



「ありがとうの青色を掌かせて」

高橋「ずえさん

「手」

爪を切りながら 思い出す

児玉先生（お仲人様）が

奥様と初めて出会った時の話

奥様の手が働く人の

手だったことが

とても心に残ったと

二十代の私は

そのお話に感動した

そして それから

手の手入れをすることに

まったく頓着しなくなった

でも

爪が伸びているのは

とっても嫌なので

ときどき 深爪をする

これは 祖母似だね

どんなお掃除もほとんど素手

アカギレが痛いのはいやだけど

ガサガサ荒れても

気にならない

手入れをしていない手のほうが

心おきなく働ける

荒れた手をみると

先生と奥様のことが

思い出され
その手で 感謝の合掌をする

活動報告

○来る6月19日に第一回目の

「母体保護法改正を求める街宣

活動」を計画しています。幟旗

3種、チラシ2種、ゼッケン、

ポスター、スピーカー、署名用

紙、警察への許可願い等を準備

しています。

ゼッケンやポスターのカット

を島根の会員の野田美千代さん

にお願ひしましたら、心のこも

った素晴らしい絵を2つ描いて

下さいました。

但し6/19が参院選の影響

で変更の可能性もあり確認をし

ています。



△



犬猫も大事だけど、もつと
大切なのはお腹の赤ちゃん！

中絶が少子化を招いている
『母体保護法』の改正を！

胎児も人間 中絶は殺人です
あなたは中絶されてよかったの？

会員による「和歌」の紹介

「靖國神社」、他

・靖國の参道のきぎ井吹きそめ 國に正気の息吹ぞ高まる

・病める我の見えざる砥石わが魂の 隅々までも磨くれにし

・日毎吾の講演資料に斬り抜かれ 残る紙面は蕎麦にかも似る

「靖國神社」

森 靖子

・天皇のご親拝給う靖國に 光り輝く日の本を觀る

・先帝の「くやくももある」を果たされて 御親拝給ふ御姿を觀る

・いつもいつも靖國親拝叶えよと ただに祈りてもうすく三十年

・魂魄となりても護る祖霊ありて 皇國清し靖國参拝

「パラオ行幸啓」

岩田幸枝

・慰靈碑のかなたに浮かぶも激戦地 緑なす島拜み給ふ

・両陛下むかえ奉るや青き海に 白きアジサシあまた飛びしと

・夕茜の中行く一機の旅人に 若き日の旅かさね給えり

「明治憲法草案検討」

野田滋美

・夏島に憲法草案喧々と 伊藤金子等 頭脳激論す

○5月15日に、代々木青少年総
合センターで総会・記念研修会を
開催しました。

総会に続き、研修会（講演）を
行いました。講師のソプラノ歌手

森敬恵先生の童謡歌唱とトークは

参加者一同引き込まれるすばらし

いものでした。又、天水初音さん、

鈴ちゃん母娘の「教育勅語」暗誦

や、合唱隊「鶯の会」による合唱

「日本」には参加者全員聞き入
っていました。

日本再建と生命尊重のすばら
しい会となりました。

○明治憲法復元・改正のお願い
のチラシを作りました。2種類
のチラシをA3裏表に印刷し、
2つ折りにして、4ページの形
態としました。

この会報に同封しますので、
ご活用下さい。

○「憲法改正を求める1000
万人署名」、「明治憲法復元・改
正署名」、「母体保護法改正を求
める署名」も多数の郵送、FA
Xが入っています。ありがとう
ございます。

○山谷えり子先生の後援会推進
も実施しています。

編集後記

・山谷えり子先生が7月10日
の参議院選挙に出馬されます。

最高位当選をし
て頂きますよう
後援会、チラシ

配り、各種集会等
ご支援を宜しく

お願い致します。

